



12月3日(日)~9日(土)は
障害者週間です

広報ひの 12月特集号



障害者週間イベント

いっしょに

～知る・理解するを深める～

12月3日(日) 午前10時~午後3時30分
イオンモール多摩平の森 3階 イオンホール

入場
無料

- 申込不要
 - どなたでも参加可
- 手話通訳あり



ID 1018603

コロナ禍で開催できなかった障害者週間イベントが今年は4年ぶりに復活!!
小学生を対象とした福祉教育を通じて、“障害”や“幸せ”について考えたり、
楽しいパラスポーツを体験してみよう!

講演会 ～幸せについて考えてみよう

障害のあるなしに関わらず、自分や他人の幸せとは何か、この講演会をきっかけに考えてみませんか。小学生向けの内容ですが、大人も一緒に考えてみましょう。



ブラインドサッカーや ボッチャを体験しよう!

パラスポーツを楽しく体験してみよう!当日の種目はブラインドサッカーとボッチャです。



スタンプラリーや抽選会で 景品をもらおう!

午前の講演会にご参加いただいた方には、抽選でお菓子などの景品をプレゼント!午後のスタンプラリーでもスタンプを集めてお菓子などをGET!



障害のある方の日常を紹介

障害について知り、より身近に感じていただくため、障害のある方の日常をご紹介します。

今回は知的障害(※)のある関野さんにご協力いただき、平日の仕事や休日のお家での過ごし方など、普段の生活についてインタビューに答えていただきました。

関野さんは「保育園で働きたい」という目標に向かって事業所で仕事をしたり、休みの日も児童館や団体でのボランティアをしたりスポーツを楽しんだり、さまざまなことに活動的に取り組んでいます。関野さんの日常を知っていただき、あらためて“障害”とは何かを考えてみませんか。

※知的障害とは

知的機能の障害が発達期(おおむね18歳未満)にあらわれ、日常生活においてさまざまな困難さを感じたり、不自由が生じ、支援を必要としている状態のことをいいます。

関野さんのプロフィール

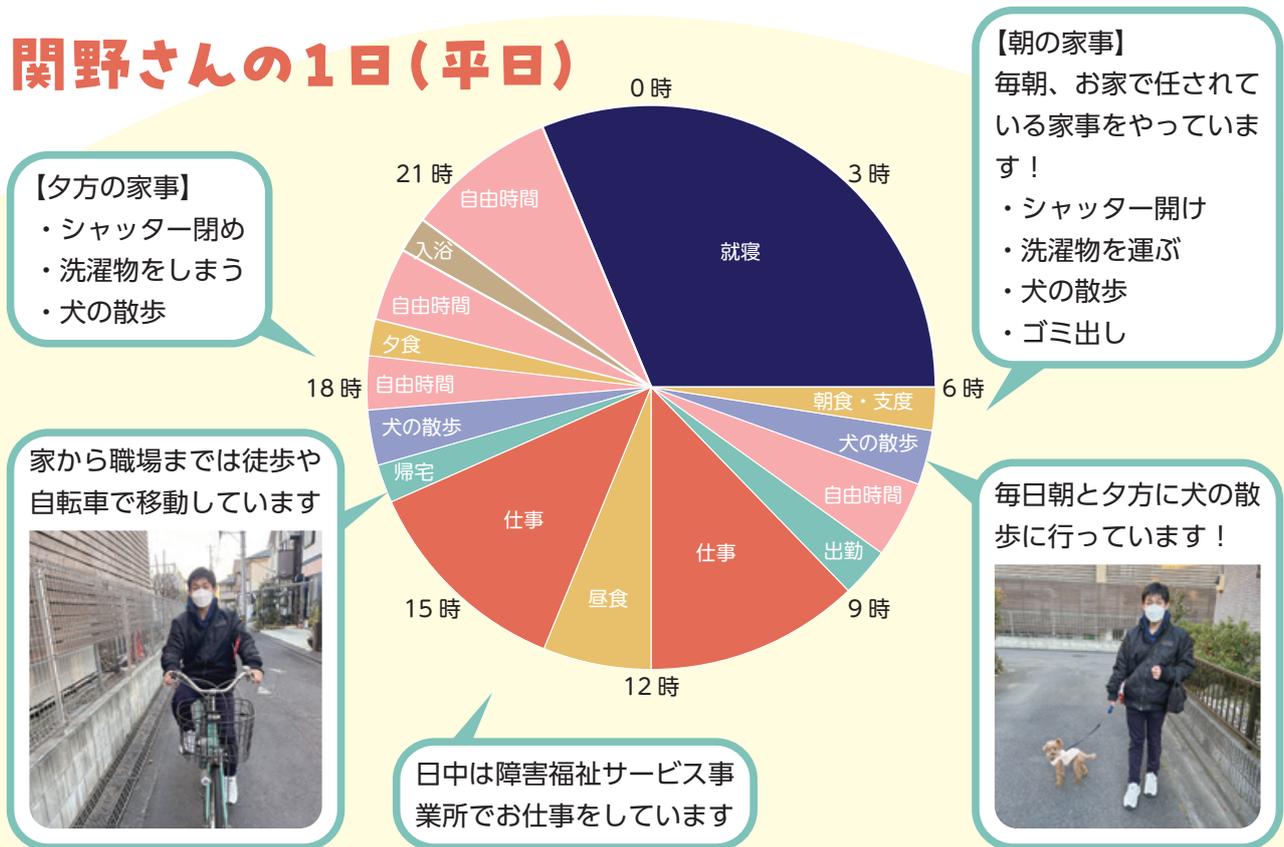


▲インタビューを受ける関野さん
ずっとにこにこ素敵な笑顔を見せて
くださったのがとても印象的でした！

- 現在23歳。1歳8カ月の時に急性脳症になり、後遺症により知的障害となる。愛の手帳3度(※1)所持。
- 私立保育園→市立小学校(特別支援学級)→都立七生特別支援学校中学部→都立七生特別支援学校高等部→至誠学舎ワークセンターまことくらぶ(福祉就労)
- 月曜～金曜日は「まことくらぶ」で軽作業や清掃のお仕事で働き、土曜日はたまにひの児童館とまんがんじ児童館でボランティア活動をして「関ちゃん」の愛称で親しまれています。
- 日曜日は移動支援(※2)でスポーツ体験会への参加やボランティアスタッフとして活躍。高尾山や動物園、映画を観に行ったりして楽しんでいます。

※1 愛の手帳は、知的障害のある方に交付される手帳です。1～4度の区分があり、3度は中度に当たります
※2 屋外の移動が困難な方の外出を支援するサービスです

関野さんの1日(平日)



関野さんにインタビュー



Q 普段はどんなお仕事をしていますか

A 普段はサインペンの先になる部分を束にまとめるペン先加工のお仕事や、保育園にダンボールを回収しに行ったり、高齢者施設の草むしりなどをしています。いつか保育園で働きたいという希望があるので、それにつながるお仕事として苗の水やりもしています！

Q 仕事で楽しいことややりがいを教えてください

A できなかったことができるようになってやりがいを感じます。前は困ったときにスタッフの方に相談するのが苦手でしたが、最近はできるようになりました。

Q お仕事がお休みの日は何をして過ごしていますか



▲楽しくバスケットボールをする様子

A ガイドヘルパーと一緒に東京都文化スポーツ事業団のスポーツレクに参加しています。参加者としてだけでなく、ボランティアとしても参加しています。元々スポーツが好きで、学生の頃は競技部でバスケットボールやソフトボールをやっていました。今でもコマやユニカールなどのニュースポーツも含めてさまざまなスポーツをしています。その時に待ち合わせ場所まで一人で行ったり、一人で帰るなど、電車とバスに一人で乗る練習にもなっています。あとは、児童館のボランティアをしていて、子どもとバスケなどを遊んでいます。小さい頃から児童館を使っていたことと子どもが好きだということもあり、ボランティアをやってみないかと声をかけてもらった

ことがボランティアをはじめたきっかけです。児童館のボランティアは知っている人が多くいるのでとてもやりやすいです。

Q お家では何をして過ごしていますか

A 毎日朝と夕方に犬の散歩をしています。犬ととても仲良しです。あとは漢検のアプリやゲームをしています。



▲仕事中的様子

ことがボランティアをはじめたきっかけです。児童館のボランティアは知っている人が多くいるのでとてもやりやすいです。



▲ユニカールというスポーツに挑戦しました！

支援者の方から

なごみ在宅介護サービス日野 天沼さん

関野さんが高校を卒業する時に相談支援の担当になりました。とても朗らかな方でスポーツが好きとのことですのですぐに意気投合しました。関野さんの「強み」は何かかと考え、移動支援を利用した余暇活動、ボランティアへ参加することを提案させて頂き、今ではボランティアとして頼られる存在となっています。



いかがでしたでしょうか。

そもそも“障害”とはなんでしょうか。“障害”についていろんなイメージを持っている方もいれば、聞いたことはあっても深く考えたことはない方もいらっしゃると思います。

“障害のある人”と聞くと「何かができない」、「制限されている」とイメージされる方が多いと思いますが、今回ご紹介した関野さんのように、支援されるだけでなく、ボランティアとして多くの方を支援している方もいます。“障害”という言葉で無意識に偏見や誤解を抱いてしまうことがないように、これからも障害のある方の日常をご紹介していきますので、ご注目ください！

“誰にとってもやさしいまち”を目指して ～医療的ケア児等への支援

市は障害のあるなしに関わらず、誰もが暮らしやすいと感じる“誰にとってもやさしいまち”を目指しています。

“誰にとってもやさしいまち”を実現するためには、社会にあるさまざまな障壁を取り除いていく必要があります。そのための取り組みの例として医療的ケア児等への支援についてご紹介します！

医療的ケア児等とは

医療的ケア児等とは、日常生活や社会生活を送るために常に人工呼吸器の使用や痰の吸引などの医療的ケアが必要な児童のことで、必要とされる医療的ケアはさまざま、歩ける子もいれば、寝たきりの子もいます。また、医療的ケア児等の中には重症心身障害児も含まれています。重症心身障害児とは重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複している児童のことで、市は重症心身障害児についても医療的ケア児等として支援を行っていきます。

医療的ケア児等への支援について

医療的ケア児等の支援については、病気や障害に対する医療的なケアだけではなく、それ以上にその子どもがどのような生き方をしたいのかという視点からどうしたら充実した生活を送ることができるかを考えていくことが重要です。成長していくに当たり必要な体験や経験の不足がないよう、成長段階に合わせて必要なケアと社会参加が可能な環境を整える必要があります。そのためには医療機関や教育機関、地域コミュニティなど、医療的ケア児等を取り巻く多種多様な機関が連携し、包括的な支援を行うことができる環境づくりが大切です。

医療的ケア児等を取り巻く環境



日野市ではこんな取り組みをしています！

市は、医療的ケア児等への支援に携わる関係機関の連携体制の構築を目的に、令和3年度に「医療的ケア児等支援協議会」を設置し協議を進めています。協議会では医療的ケア児等への支援における現状の課題の確認やその解決に向けた取り組みの検討などを行っています。今後も協議を進め、医療的ケア児等とその家族が安心して生活ができる環境づくりに努めていきます。

つくし × 高幡図書館 共催企画

パネル&書籍紹介「高次脳機能障害ってなんだろう？」

高次脳機能障害についてのパネル展示と関連書籍の紹介から、この障害についての理解を深めましょう。

展示期間 12月1日(金)～14日(木)午前10時～午後7時
※土曜・日曜日、祝日は午後5時まで。月曜日休館
場所 高幡図書館
内容 「症状のいろいろ」「回復への道のり」などのパネル展示 など
問い合わせ 日野市高次脳機能障害者支援センターつくし(☎070-1316-8800)、市障害福祉課(☎042-514-8489)、高幡図書館(☎042-591-7322)

高次脳機能障害とは

脳の病気や頭のケガにより脳が大きなダメージを受け、記憶力や判断力などの低下が起きることで、ある日突然誰でもなり得る障害です。「新しいことが覚えられない」「ミスが多発する」「感情や欲求のコントロールが難しくなる」など、症状・程度は人それぞれです。生活や環境を整えながら、脳疲労に気を配り、自分らしい生活に向けリハビリをしていきます。

障害のあるなしに関わらず

“誰にとってもやさしいまち”を目指して

令和5年(2023年)12月号

問い合わせ先

日野市健康福祉部障害福祉課 〒191-8686 日野市神明1-12-1

☎ 042-585-1111 (代表☎) <直通☎>042-514-8991

FAX 042-583-0294 ✉ syogaif_suisin@city.hino.lg.jp